

## 令和3年第2回大野城市議会3月定例会代表質問通告

○本会議（2日目）代表質問

令和3年3月3日 午前9時30分（於 議 場）

会派名	議員氏名	件 名
自民令和 自民まどか	田中 健一	1. 令和3年度施政方針について (1) 「市民の生命と暮らしを守り抜く」について (2) 「ポストコロナ時代における成長を実現する」について (3) 9月の市長選挙について
公明党	井上 正則	1. 令和3年度施政方針について (1) はじめに～時代認識～ (2) 市政運営の基軸
改革フォーラム	関岡 俊実	1. 今年度の予算編成の指針と今後の財政計画について (1) 市税等の減収の中での予算編成の指針について (2) 今後の財政見通しについて  2. 行政事務のデジタル化計画について (1) デジタル化の目的と今後の計画について (2) 情報共有の推進について  3. 教育環境の充実について (1) オンライン授業による学習支援について (2) 学習環境の改善について
自民大野城	井福 大昌	市長施政方針  1. 市内の事業者へのコロナ支援について (1) 万が一の場合の除菌への協力など、施政方針に書かれていたこと以外にも市内事業者への支援の予定などあればお聞かせください (2) また、第3波の長期化や第4波の到来など万が一の場合、先手支援の備えについて見解をお聞かせください  2. 子どもたちへのコロナ支援について (1) 市内の子どもたちへのコロナ感染対策や学習支援、学校行事が中止になり思い出作りを望んでいる子どもたちへの支援、その他、子どもを持つ家庭への支援など、学校や市の未来を担う子どもたちへのコロナ対策と支援のお考えをお聞かせください  3. 西鉄連続立体交差事業と都市開発・街づくり、その他にぎわい関連事業との連携について

- (1) 市内交通網の変化を含め、今後の 50 年の未来にとって、本高架事業がどのような位置付けなのかをお聞かせください
- (2) また、本高架事業は「にぎわい」という大きな括りで考えると、来年の「市政 50 周年記念事業」や、「選ばれる街シティプロモーション事業」、「日本遺産登録」など、様々な事業とのタイアップやコラボレーションで大々的に展開してさらなるにぎわい作りが可能であると考えますが、各課連携による縦割り行政を飛び越えたこれら 4 点セットによるにぎわい創出の見解をお聞かせください
- (3) そして白木原駅西口の傍には、日本郵便の 2195 平方メートルもの未利用地いわゆる郵政アパート跡があり、JR 大野城駅西側にも財務省の土地があります。

特に日本郵便のアパートは地元でもオバケ屋敷と揶揄されるほど、さびれて危険そうな建物跡になっております。もちろん国の所有ですが、本市に整備する権利がないことはわかっておりますが、高架完成後の安心安全な街づくりと景観のためにも福岡県と協力して国に対してなんらかの要望を出していいものと考えますが、見解をお聞かせください
- (4) さらに、コロナ禍での高架工事ということで、これ以上工期が遅れないかなど、心配の声もありますので、高架切り替えスケジュールは現状スムーズにいつているかもお聞かせください

#### 4. デジタル推進プロジェクトチーム設置について

- (1) 今回のプロジェクトチームについてですが、どのようなチームで、どのように市内業務が変わっていくのか、そして働き方改革に繋がるのか、市民サービスにはどう影響していくのか、展望をお聞かせください
- (2) また、デジタルに関連して、「GIGA スクール構想」などの学校教育のデジタル化 ICT 化施策の展望をお聞かせください

#### 5. 少子高齢化と人口減少による様々な問題について

- (1) 福祉費、扶助費の増大に、反比例して生産人口は減り、税収は落ちていき、市の財政が悪化していく。また、ファシリティマネジメントの観点からも、将来の公共施設の維持費などの問題も出てくる。その時が来て慌てても遅いので、今から専門部署を立ち上げている自治体もあります。さらに人口減少は実は教育にも関係していると思われれます。

最後に、今後の本市の 50 年の未来を考え、この問題への市長のご見解をお聞きします